



環境経営レポート

2023年度（対象期間：2023年4月～2024年3月）



株式会社 メ ト □

2024年 9月 10日発行



目 次

I. 環境経営方針	2
II. 組織の概要	3
III. 実施体制	4
IV. 環境経営目標と実績	5
V. 環境活動計画と評価、次年度の取組	6
VI. 環境活動実績および社会貢献活動	7
VII. 環境関連法規等の遵守状況	9
VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示	10

I. 環境経営方針

基本理念

株式会社メトロは、環境保全が持続可能な社会の実現に不可欠と認識し、一人ひとりが環境へのやさしさを優先して行動することにより、社会の安全と発展に貢献するIT企業として社会的責任を果たします。

基本方針

株式会社メトロは、事業活動の全域で「省資源」・「省エネ」を中心課題に据え、持続可能な社会の実現に向け、全社をあげて環境保全活動を展開します。

1. 環境関連法規の遵守

事業活動の全域で、環境関連の法令、条例、その他の要求事項を遵守します。

2. 資源・エネルギーの効率的活用

事業活動の全域で、資源およびエネルギーの有限性を深く認識し、それらを効率的に利用し、節約およびリサイクルに積極的に取り組みます。

3. 環境マネジメントシステムの構築、運用、改善

事業活動、製品・サービスの性質、規模および環境影響に対して適切な環境マネジメントシステムを構築・運用し、継続的改善を図ります。

4. 環境経営方針の推進

環境経営方針を推進するために、CO2排出量削減テーマである、「電力の削減」・「廃印刷紙の削減」および「廃棄物のリサイクル化促進」を中心課題に据えて、環境目的・目標を設定すると共に、その達成度を定期的に監視し見直します。

5. 環境経営方針の周知と公開

環境教育・周知活動を推進し、全社員（役員、従業員、契約社員、協力会社社員を含む）の環境意識の向上を図るとともに、環境経営方針を公開します。

6. 生物多様性への取り組み

生物多様性の保全に取り組むことにより、企業、人間社会、自然環境、そして様々な「生きもの」が互いに生命を支えあう共生型の社会を実現し、持続可能な新しい時代を築くことに貢献します。

7. グリーン製品調達の推進

環境に配慮したグリーン製品購入に努めます。

制定 2012年8月8日

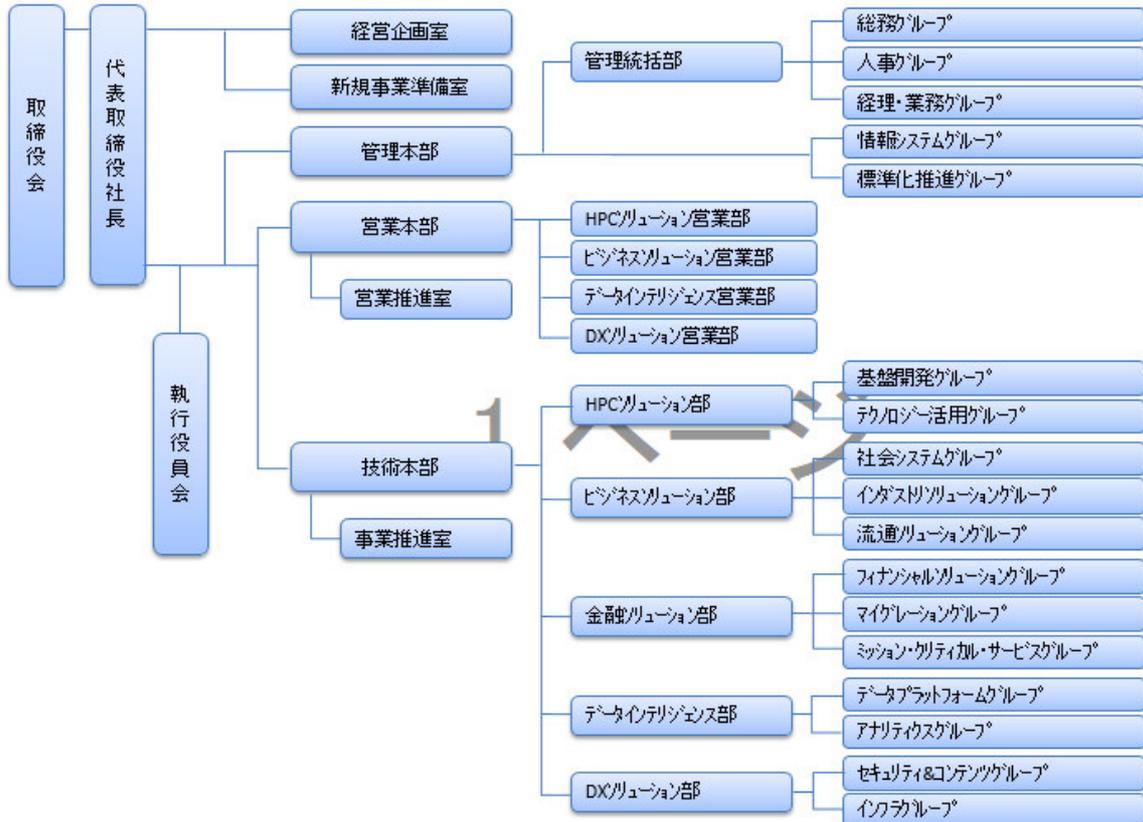
改定 2022年11月2日

株式会社 メトロ
代表取締役社長 國清 康之

II. 組織の概要

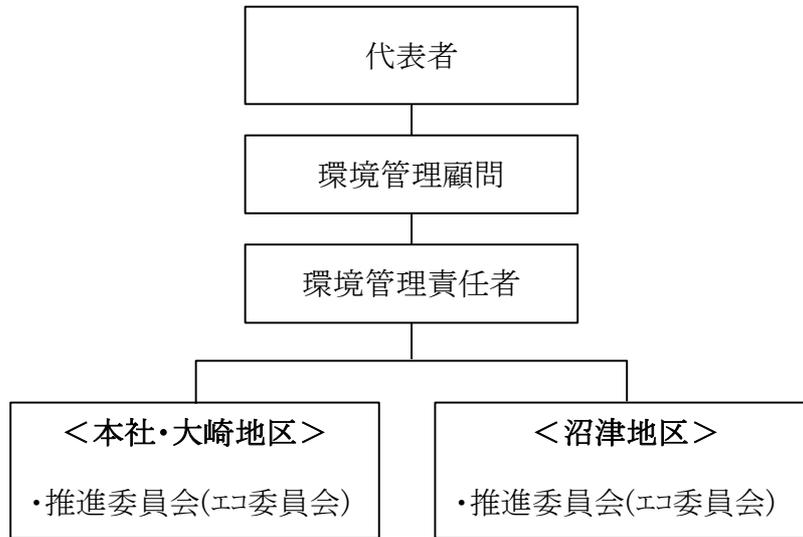
事業所名	株式会社メロ
代表者	代表取締役社長 國清 康之
所在地	◆本社・大崎ソフト開発センター 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎 ウエストタワー22階 TEL:03-4214-1020 FAX:03-4214-1015 ◆沼津ソフト開発センター 〒410-0007 静岡県沼津市西沢田347 メロボビル TEL:055-923-8327 FAX:055-923-4768
設立	1971年7月10日(1987年10月1日 現会社名に変更)
資本金等	3億1,625万4千円
事業の内容	コンピュータの基本ソフト開発、業務アプリケーションに関する請負、要員派遣、情報処理システムのSIサービス、セキュリティソリューション、データ統合を中心としたビジネスインテリジェンス(BI)などの各種ソリューション提供
売上高	3,633百万円 (53期:2022年7月-2023年6月)
従業員数	394人 (2023年6月末現在)
延床面積	3,975㎡ (本社・大崎:775㎡、沼津:3200㎡)
環境管理責任者	管理本部 杉本 太郎
対象範囲	組織:全組織、全従業員 活動:上記、事業の内容

◇組織図◇(2023年7月現在)



Ⅲ. 実施体制

1.環境管理実施体制



2.役割表

役割	責任及び権限
代表者 (代表取締役社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の制定・制約 ・環境経営全般に対する責任と権限 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営資源の確保 ・全体の取組状況の評価と見直し並びに指示 ・環境経営目標、環境経営計画の承認 ・経営の課題とチャンスの明確化
環境管理顧問	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する助言及び指導
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営活動の推進、管理 ・環境経営目標及び環境経営計画の作成 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営推進会議の実施 ・環境経営レポートの確認 ・環境関連法規等の把握と管理
推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境経営方針、環境経営目標等を従業員に周知 ・環境負荷、環境への取組みの自己チェックの実施 ・環境経営計画の立案、実施 ・環境経営レポートの作成 ・各拠点の実績集計及び取り纏め ・問題点の抽出、是正・予防処置の実施 ・環境教育の資料作成、実施及び記録の作成
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標などの確認と理解 ・環境活動への参加及び実施

IV. 環境経営目標とその実績

1. 中長期目標

基準値の見直しを行い、2019年度実績と2020年度実績の平均値を【基準値】としています。

2020年度において新型コロナウイルスの影響で各排出量が著しく減少していることから直近2年度分の平均値としました。また、アフターコロナにおける変化や事業の状況に応じて、妥当性を確認し、目標の見直しを実施する予定です。

項目	単位	基準値 (直近2年度分の平均値)	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標	
二酸化炭素排出量	kg-co2	143,853	基準値以下	基準値以下	基準値以下	
調整後排出係数(単位:kg-CO2/kWh) [本社]0.441(東京電力) [沼津]0.560(KDDI)	電力	kWh	285,147	基準値以下	基準値以下	基準値以下
	ガソリン ※1	L	321	実績管理	実績管理	実績管理
廃棄物排出量	一般廃棄物 ※2	Kg	2,434	実績管理	実績管理	実績管理
	産業廃棄物	Kg	-	-	-	-
紙使用量	枚	187,386	基準値以下	基準値以下	基準値以下	
水使用量	※3	m ³	998	実績管理	実績管理	実績管理
グリーン購入	-	環境配慮品を優先的に購入するよう努める				

電力の排出係数は2021年度より「電気事業者別排出係数-R1年度実績(R3.1.7環境省・経済産業省公表)」を使用する。

基準値(直近2年分)のCO2排出量は、中長期目標見直し後の調整後排出係数を使用して再算出。

2. 運用期間の目標と実績 (2023年度:対象期間2023年4月～2024年3月)

項目	単位	2023年度目標 2019年,2020年度平均値	2023年度実績	基準値比	評価	
二酸化炭素排出量	kg-co2	143,853	119,250	△17.1%削減 (-24,603)	◎	
調整後排出係数※ (単位:kg-CO2/kWh) [本社]0.441(東京電力) [沼津]0.560(KDDI)	電力	kWh	285,147	218,454	△23.4%削減 (-66,693)	◎
	ガソリン ※1	L	321	133	△58.6%削減 (-188)	実績管理
廃棄物排出量	一般廃棄物 ※2	Kg	2,434	2,454	+0.8%増加 (+20)	実績管理
	産業廃棄物	Kg	-	-	-	-
紙使用量	枚	187,386	117,125	△37.5%削減 (-70,261)	◎	
水使用量	※3	m ³	998	973	△2.5%削減 (-25)	実績管理
グリーン購入	-	環境配慮品を優先的に購入するよう努めた				

(補足) 植栽維持管理により「16,590Kg/年間、1,383Kg/月間」(契約造園管理者様の算出値)のCO2を吸着している。

※1 ガソリン使用量は、営業活動によるものであり管理項目とする。CO2排出係数は、2.32kg-CO2/lにて算出。

※2 廃棄物は、一般生活廃棄物のため管理項目とする。また、本社はテナントビルにより計測不可のため沼津地区のみ計測とする。

※3 水使用量は、一般生活排水のため管理項目とする。また、本社はテナントビルにより計測不可のため沼津地区のみ計測とする。

<2023年度の実績について>

今年度は、CO2排出量・電力使用量・紙使用量の全ての評価項目において、基準値比で削減となりました。(基準値については、昨年度より状況変化のない事が予測されたため当初の目標設定のまま運用を継続しました)各活動は継続して維持管理されており、取り組み内容においても適切な運用を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」(2023年5月8日～)に移行されたことにより、社有車を使用した活動が少しずつ戻り始めました。(昨年比では約20%増加。ただし、コロナ禍前と比べると1/3程度の使用量。)ガソリン使用量は管理項目となっておりますが、CO2排出に直結するものです。社有車の利用は事業活動において必要不可欠なものである為、今後も活動計画におけるCO2削減の取り組みを適切に検討していきます。

3. 次年度の環境経営目標

【中長期目標:2024年度～2026年度】2023年度実績を基準値とする。

2023年度は新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴う働き方の変化や、本社移転等の環境変化等が定着し、反映した実績となっているため新たな基準値とした。

項目	単位	基準値 (2023年度実績)	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	
二酸化炭素排出量	kg-co2	83,245※	基準値以下	基準値以下	基準値以下	
調整後排出係数(単位:kg-CO2/kWh) [本社]0.376(東京電力) [沼津]0.404(auエネルギー&ライフ)	電力	kWh	218,454	基準値以下	基準値以下	基準値以下
	ガソリン ※1	L	133	実績管理	実績管理	実績管理
廃棄物排出量	一般廃棄物 ※2	Kg	2,454	実績管理	実績管理	実績管理
	産業廃棄物	Kg	-	-	-	-
紙使用量	枚	117,125	基準値以下	基準値以下	基準値以下	
水使用量	※3	m ³	973	実績管理	実績管理	実績管理
グリーン購入	-	環境配慮品を優先的に購入するよう努める				

電力の排出係数は2024年度より「電気事業者別排出係数-R4年度実績(R5.1.22環境省・経済産業省公表)」を使用。

※電力の基準値(2023年度実績)は、中長期目標見直し後の調整後排出係数を使用して再算出。

V.環境活動計画と評価、次年度の取組

(取組期間:2023年4月～2024年3月)

取組内容		取組結果と評価	次年度の取組		
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ	不必要なアイドリングの禁止	○	・使用記録の管理 (走行距離、行き先、使用者) ・エコドライブの啓蒙活動 (2017年11月実施)	・継続実施
		不要な荷物を降ろす	○		
		急発進・急加速の禁止	○		
		効率的な移動ルートとタイミングを常に検討する	○		
		適切なエアコンの使用	○		
	管理・整備等	定期点検の実施	○	・定期点検の実施 ・環境に配慮した車両整備を実施 ・省エネ車の導入(社有車:2台保有) 2015年11月1台をハイブリッド車へ変更 2016年10月1台をハイブリッド車へ変更	・継続実施
		省エネオイルの使用	○		
		タイヤの空気圧を定期的にチェックし、適正値を保つ	○		
		自動車購入時は省エネ車を採用	○		
	空調等	室温の適正化(目安温度:冷房時28℃、暖房時20℃)	○	・温度設定の表示シール貼付 ・社内各所に温湿度の設置、測定 ・クールビズ、ウォームビズの実施 ・定期的なフィルター清掃を実施 ・サーキュレーターの設置および活用 ・[沼津]自社ビルに全熱交換器設置:計20台 1階から3階に17台設置(2022年1月) 3階会議室に3台設置(2023年5月)	・継続実施
		クールビズ、ウォームビズの実施	○		
		フィルターの定期的な清掃および適正管理	○		
		未使用エリアの空調停止	○		
		日射を遮るため遮光対策の実施	○		
		全熱交換器の設置	○		
	照明・設備等	不必要な消灯の徹底	○	・消灯及びスイッチ点灯の表示シール貼付 ・不要時の消灯徹底 ・エリア消灯の啓蒙活動(2017年4月～) ・[沼津]自社ビルにて、LED照明化を実施 (2015年5月:ビル1階～3階フロア全体) ・OA機器の省電力設定 ・複合機4台入替の実施(2018年3月末) ※エコマーク商品	・継続実施
		高効率照明の採用(LED)	○		
		定期的な清掃および適正管理	○		
人感センサー照明		○			
エネルギー効率の高い機器の導入(OA機器)		○			
未使用設備の電源OFF(製造設備・OA機器・他)		○			
水の削減	節水の呼びかけ表示	○	・節水の啓蒙(シール貼付) ・洗車時における節水の徹底 ・業者による定期点検およびメンテナンスの実施 ・[沼津]自社ビルのトイレ改修工事を実施 (2019年6月実施)	・継続実施	
	洗車時の節水	○			
	受水槽、高架水槽の点検	○			
	トイレ用水の節水(トイレ用擬音発生装置の取り付け)	○			
	自動水洗の取り付け	○			
廃棄資源の削減	両面・集約等の機能活用による印刷・コピーの徹底	○	・ペーパーレスの推進 ・会議フロアにモニター導入によるIT化 (2015年度実績8台導入)全社計15台 ・TV会議、Web会議等の利用推進 ・施設予約システムの利用推進	・継続実施	
	封筒などの再利用	○			
	事務手続き書類の簡素化(電子申請)	○			
	紙媒体のIT化による効率化	○			
	廃棄物の分別の徹底	○			
	イントラネットによる情報共有	○			
	施設情報の共有と利用促進および運用管理	○			
リサイクル	ごみの分別の徹底	○	・分別徹底と適切な業者の選定 ・エコキャップ運動の実施(2011年開始) ・エコキャップ運動の啓蒙(2016年度実施) ・ポスター貼付等による分別徹底の啓蒙活動 (2017年9月実施)	・継続実施	
	古紙、ダンボール、雑誌等のリサイクル	○			
	ペットボトル・瓶・缶等、飲料容器のリサイクル	○			
	シュレッダー処理の削減	○			
グリーン購入	集約化購買	○	・購買窓口の一元化による購入品目の適正管理 ・環境負荷の少ない製品を積極的に購入する ・複合機4台入替の実施(2018年3月末)	・継続実施	
	事務用品のグリーン購入を推進	○			
	機器・設備のグリーン購入を推進	○			
生物多様性	事業所周辺の保全活動	○	・専門業者による定期的な害虫駆除の実施 ・専門業者による植樹エリアの整備	・継続実施	
	敷地内の緑化活動	○			
ビサ製品	講習会等の実施	○	・顧客生産性向上に寄与	・継続実施	
教育訓練	緊急事態の想定訓練	○	・避難訓練の実施 ・環境教育の実施 ・教育の機会を設け環境活動の意識を高める	・継続実施	
	定期研修	○			
備考	評価判定:○(実施できた)、△(一部実施した)、×(未実施)、- (検討中)				

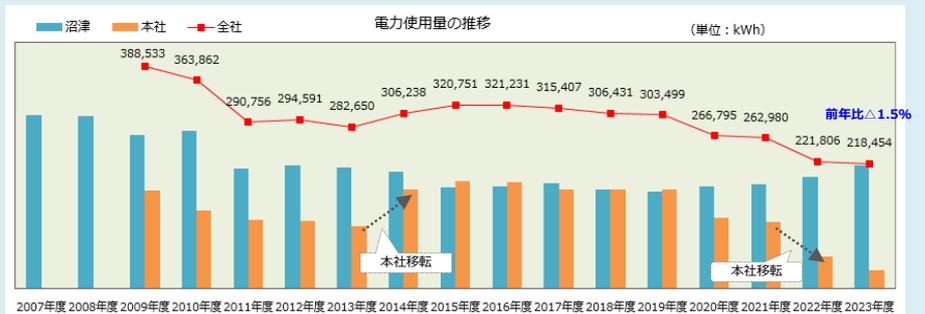
VI. 環境活動実績および社会貢献活動

1. 主な環境活動

◆◆電力使用量の削減◆◆

【取組内容】

- ・休憩および残業時における消灯の徹底
- ・未使用エリアの消灯の徹底
- ・室温の適温化(冷房28℃、暖房20℃)
- ・空調機の定期的な清掃を実施
- ・サーキュレーターを設置
- ・照明のLED化(沼津自社ビル)
- ・ノー残業デーの設定(毎月第2・第3水曜日)
- ・クールビズ、ウォームビズの実施
- ・省エネ製品の導入
- ・全熱交換器の設置(沼津自社ビル:計20台)
2022年1月(17台)、2023年5月(3台)



【取組の一部】

<全熱交換器の設置>



<その他>



【活動実績】

<全社> 前年対比 1.5%削減(約3,350kWh)
各拠点では環境の変更による結果となりましたが、想定される範囲となっており取り組み内容は継続実施できていると判断できます。

<本社> 前年対比 42.3%削減(約20,900kWh)
移転前の使用量が2022年8月分までであった為、前年度と比較して大幅な削減となりました。9月以降は前年同様の使用量となり大きな問題はありませんでした。

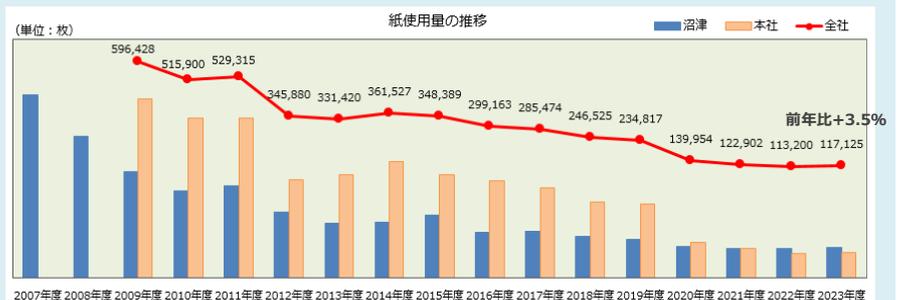
<沼津> 前年対比 10.2%増加(約17,550kWh)
増加要因として、2023年5月に追加設置した3台分の全熱交換器(24時間稼働)の影響と考えられますが、想定された結果となっています。安定したクリーンな職場環境となっていることで作業効率化に繋がっております。

次年度においても、拠点毎の状況を踏まえて確認を行い、適切に管理していくことや、柔軟な対応を継続して取り組みを実施していきます。

◆◆紙使用量の削減(ペーパーレス・リサイクル推進)◆◆

【取組内容】

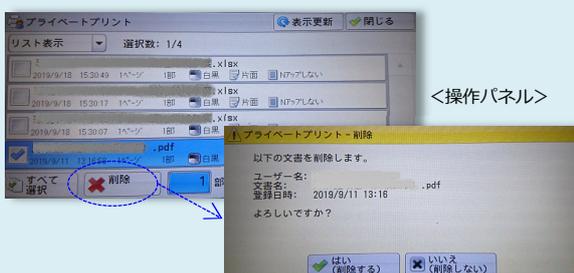
- ・印刷設定(Nアップ、両面印刷等)の徹底
- ・省エネ製品の導入
- ・資源のリサイクル(適切な業者へ依頼)
- ・TV会議、Web会議システム、TV/モニタの導入(計15台)によるペーパーレス会議の推進
- ・施設予約システムの利用推進
- ・給与明細書の電子化(2016年4月開始)
- ・文書の電子申請化
- ・ジョブ履歴配信による実績管理(各個人の印刷枚数・モードの集計)
- ・複合機の4台の入替え(2018年3月実施)



【活動の一部(複合機の機能)】

ID認証後の画面操作により

出力ミス等の無駄な印刷が削除可能!



【活動実績】

<全社> 前年対比 3.5%増加(約3,900枚)
<本社> 前年対比 2.7%増加(約1,400枚)
<沼津> 前年対比 4.1%増加(約2,500枚)

今年度の増加の影響は、突発の紙出力対応によるものと考えられます。全体使用枚数の約9%(約10,500枚)の印刷対応がありました。その他については全体的に削減となっているため、各取り組み内容が問題なく実施されていると判断できます。

ハイブリットワークなどの働き方や、ペーパーレス化がより定着してきたことで、紙使用量は毎年減少されています。次年度も実績管理を適切に行い、各状況における対応、啓蒙活動などの取り組みを継続実施していきます。

VI. 環境活動実績および社会貢献活動

2. 主な社会貢献活動等

◆エコキャップ推進運動 <2011年度より活動開始>

自社のエコキャップ運動の流れを作成し、
各ごみ箱や回収BOXへポスター貼付しています。

2023年度実績:13,600個
(ポリオワクチン約15.8人分)
13年間合計:213,307個
(ポリオワクチン約248人分)



なお、エコキャップ回収・洗浄工程において
沼津地区の障害者就労支援にも役立っております。

◆献血活動(沼津地区)年2回 <2006年より継続実施>

今年も2回(5月、11月)に実施し、
合計27名が献血に協力しました。



【静岡県知事褒賞を受賞】[2019年7月]
長年継続している献血活動において「献血推進に積極的
に協力し、他の規範となる団体」として表彰されました。

◆環境美化活動 <2010年より継続実施>

【沼津地区】沼津市「市内一斉クリーン週間」へ
毎年参加し、清掃活動をしています。

[2023年11月実施]

メトロビル、第一、第二駐車場の近隣や
事業所周辺のポイ捨てごみ収集・雑草除去を行いました。



◆防災訓練

【本社:2023年9月実施】

テナントビルでの消防総合訓練に参加。
地震発生時の身体防護訓練、火災対応訓練、
避難訓練を実施しました。

【沼津:2023年11月実施】

自社ビル勤務者を対象に、シェイクアウト訓練、
避難訓練を実施しました。その他、イントラネットにて
避難経路、防災情報の事前確認について広報しました。



3. その他の啓蒙活動

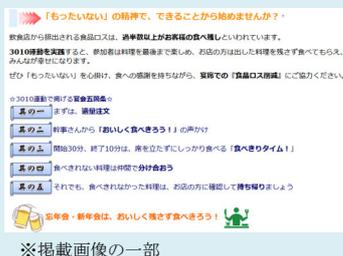
◆イントラネット広報 (エコ委員会の活動や記録など イントラネットを通じて、多くの情報を広報しています)

<掲載例>エコドライブ

エコドライブに関する情報を発信し、エコ委員メンバーの
体験レポートを掲載しています。



<掲載例>3010運動
食品ロスの現状、
削減運動について
掲載しています。



◆持続可能な開発目標 (SDGs)

SDGsのゴールに紐づく、当社の取り組みについて
ホームページに掲載しています。



VII. 環境関連法規等の遵守状況

1. 環境関連法規一覧と遵守状況

2024年5月21日
 評価者: 環境管理責任者

法律・条例	遵守事項	当社の受入対応	遵守評価	
法令	廃棄物処理法	廃棄物の適正処理・施策協力 事業系一般廃棄物の排出 産業廃棄物保管 産業廃棄物排出委託基準 マニフェストの交付・保管、知事報告 水銀使用製品の保管・排出	廃棄物の分別 沼津市および港区条例の順守と適正排出 保管場所の確認、保管場所表示 指定業者との契約確認 5年間保管、6/30迄に1年分を県に報告書提出 適切な保管、指定業者への引き渡し	遵守
	浄化槽法	点検及び水質検査	契約書の確認、記録の保管 保守点検及び定期清掃の実施 法定検査の実施(1回/年)	遵守
	消防法	消防用設備等の点検と届出 防火管理者届出 避難経路の確保および訓練	消防設備の定期点検の実施と届出 消防訓練の実施	遵守
	フロン排出抑制法	簡易点検、定期点検 廃棄時などのフロン類回収の徹底	点検の実施及び記録の保管 指定業者への引き渡し	遵守
	家電リサイクル法	適正廃棄(入替時処理代金支払)	指定家電廃棄時の適切な業者への引き渡し、リサイクル料金の支払い	遵守
	省エネ法	エネルギー使用の合理化	指定事業所でないが削減努力・記録	遵守
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガスの排出の量の削減等のための措置	国及び地方公共団体施策への協力	遵守
	ビル管理法	管理基準値の遵守	定期測定	遵守
	水質汚濁防止法	狩野川水域の排出基準の遵守	グリストラップ設置 河川に汚水や油等排出しない	該当なし
	環境基本法	一般的な自主努力	一般的な自主努力	遵守
グリーン購入法	環境物品の購入	事務用品等のグリーン購入の選択	遵守	
条例	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の設置 委託先の現地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	遵守
	沼津市における廃棄物の処理及び清掃に関する条例	事業者自らの責任で適正に処理	一般廃棄物の適正な処理、施策協力	遵守

2. 訴訟等の有無

当社に關係する環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、法規制の逸脱はありませんでした。
 又、過去3年間にわたり違反や訴訟もありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年 9月 10日

項目	確認（必要に応じて評価・コメント記載）
1 環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
2 環境経営目標および目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を基準値以下とし、全項目にて目標達成となった。
3 環境経営計画および取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
4 実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
5 環境関連法規要求一覧および遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
6 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
7 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
8 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
9 その他	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。

代表者による全体評価・見直し指示

今年度の全社の電気使用量については、2022年度の本社移転の効果により、基準値及び前年数値を下回る結果となりました。拠点別で見ると、沼津ソフト開発センターの電気使用量は前年比約7%の増加となりましたが、これは換気用ロスナイの追加設置によるもので、職場環境の改善につながっています。紙使用量については、基準値を下回ったものの前年比で約3.5%の増加となりました。これは数年に一度変則的に実施される突発の紙出力対応で必要とされる対応です。この突発業務の対応分を除いた紙使用量は前年を下回っています。これらのことから、環境経営への取り組みは適切に運用・維持されていると判断します。

2024年度からは、新たな中長期の環境経営目標を設定して、活動を行っていきます。新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴う働き方の変化や、本社移転等の社内外の環境変化と、それに伴う実績数値の変化に注目しながら活動し、目標達成を目指してください。また、品質やセキュリティのマネジメント活動との連携も強化し、環境活動のさらなる活性化に繋げて下さい。

2024年 9月 10日

株式会社メロ

代表取締役社長 國清 康之

見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1 環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
2 環境経営目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
3 環境経営計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
4 環境に関する組織(実施体制含む)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
5 その他のシステム要素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
6 その他(外部への対応)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	